

第 23 回宮崎県高等学校英語ディベート大会 3 位入賞 宮崎第一高等学校

令和 7 年 10 月 11 日(土)、宮崎県立図書館にて、「第 23 回宮崎県高等学校英語ディベート大会」が開催されました。論題は“*That the Japanese Government should ban children under 16 years old from using social media.* (日本政府は 16 歳未満の子どもがソーシャルメディアを利用することを禁止すべきである。是か非か。)”でした。

本校チームは予選ラウンドを順調に勝ち進み、午後の決勝トーナメントでは見事 **3 位に入賞** しました。惜しくも九州大会・全国大会への出場権は獲得できませんでしたが、大会当日まで綿密に準備を重ねた立論・アタック・ディフェンスを通じて、論点を的確な英語で相手チームに伝えることができました。

また、脇山 寧子さん(文理科 2 年 4 組)が、全参加者の中から**ベストディベーター**3 名のうちの 1 人に選ばれ表彰を受けました。

ディベート部顧問 : Matthew Guy McCullough 先生より

Congratulations to you all. You prepared and practiced for this competition with true diligence. On the big day, each of you took it up another level. It was really impressive to see your confidence and ability grow exponentially. I am extremely proud of all of you!



右から

長澤 東生(文理科 2 年 3 組) 第一中 脇山 寧子(文理科 2 年 4 組) 飯野中
山下 莞爾(文理科 2 年 1 組) 第一中 高野 佑良々(文理科 2 年 4 組) 山之口中
宮崎県高等学校教育研究会英語部会 会長 五反 隆行 先生